

防災訓練実施結果報告書の要旨

○川内原子力発電所における総合訓練（複数の訓練を組み合わせて行う訓練）

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|
| 訓練実施日 | 平成30年10月23日 | | | | |
| 参加人数 | 588名（協力会社57名を含む） | | | | |
| 想定した原子力災害の概要 | <p>○1, 2号機で原子力災害対策特別措置法第15条事象等に至る原子力災害を想定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1, 2号機は、定格熱出力一定運転中に、地震発生により、原子炉が自動停止し、原子炉冷却材の漏えい発生、その後、外部電源を喪失 ・2号機は、全交流動力電源喪失等により、原子炉の冷却機能を喪失 | | | | |
| 訓練の内容 | <p>以下の項目を「シナリオ非提示」にて実施</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="vertical-align: top; width: 50%;"> <p>【発電所】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) アグジメントマネジメント(AM)訓練 (2) 緊急時対応訓練 (3) 通報訓練 (4) モニタリング訓練 (5) 避難誘導訓練 (6) 原子力災害医療訓練 (7) 原子力防災要員等の動員訓練 (8) 公式サイト連携訓練 (9) 火災対応訓練 </td> <td style="vertical-align: top; width: 50%;"> <p>【本店即応センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 通報訓練 (2) 緊急事態支援組織対応訓練 (3) モニタリング訓練 (4) ERCとの連携訓練 (5) 原子力防災要員等の動員訓練 (6) 原子力事業者間協力協定に基づく支援連携訓練 (7) 発電所支援対応訓練 (8) プレス対応訓練 (9) 住民避難支援対応訓練 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>【後方支援拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 設置・運営訓練 (2) 発電所支援に係る本店即応センターとの連携訓練 </td> </tr> </table> | <p>【発電所】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) アグジメントマネジメント(AM)訓練 (2) 緊急時対応訓練 (3) 通報訓練 (4) モニタリング訓練 (5) 避難誘導訓練 (6) 原子力災害医療訓練 (7) 原子力防災要員等の動員訓練 (8) 公式サイト連携訓練 (9) 火災対応訓練 | <p>【本店即応センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 通報訓練 (2) 緊急事態支援組織対応訓練 (3) モニタリング訓練 (4) ERCとの連携訓練 (5) 原子力防災要員等の動員訓練 (6) 原子力事業者間協力協定に基づく支援連携訓練 (7) 発電所支援対応訓練 (8) プレス対応訓練 (9) 住民避難支援対応訓練 | <p>【後方支援拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 設置・運営訓練 (2) 発電所支援に係る本店即応センターとの連携訓練 | |
| <p>【発電所】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) アグジメントマネジメント(AM)訓練 (2) 緊急時対応訓練 (3) 通報訓練 (4) モニタリング訓練 (5) 避難誘導訓練 (6) 原子力災害医療訓練 (7) 原子力防災要員等の動員訓練 (8) 公式サイト連携訓練 (9) 火災対応訓練 | <p>【本店即応センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 通報訓練 (2) 緊急事態支援組織対応訓練 (3) モニタリング訓練 (4) ERCとの連携訓練 (5) 原子力防災要員等の動員訓練 (6) 原子力事業者間協力協定に基づく支援連携訓練 (7) 発電所支援対応訓練 (8) プレス対応訓練 (9) 住民避難支援対応訓練 | | | | |
| <p>【後方支援拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 設置・運営訓練 (2) 発電所支援に係る本店即応センターとの連携訓練 | | | | | |
| 訓練の評価 | <p>○原子力防災訓練に係る中期計画に基づいた、訓練計画の策定及び訓練の実施により、継続的な防災対応能力が向上していることを確認</p> <p>○発電所、本店、後方支援拠点及び各支社が連携し、原子力災害発生時に発電所及び本店の原子力防災組織が、あらかじめ定められた機能を有効に発揮できることを確認</p> <p>○昨年度訓練の主な改善項目における状況は、以下の通り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ERC(国)とのプラント状況の迅速な共有 ⇒本店即応センターに設置するERC対応ブース内の体制見直しにより、速やかな情報の共有に繋がり、また、設備の準備状況を取り纏めた設備状況シートについて、発電所及び本店の作成者間の連携により速やかな更新が図られ、一層の情報共有に寄与 ・本店即応センターとのプラント状況の迅速な共有 ⇒代替緊急時対策所に設置したTVカメラにより、本店即応センターでリアルタイムに「設備状況シート」や「戦略シート」を確認し共有することができ、一層の情報共有に寄与 | | | | |
| 今後に向けた改善点等 | <p>○より一層の充実を図る観点から、今後の訓練に反映する主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「戦略シートを活用した事故対応の全体を俯瞰した戦略報告ができていないこと」を踏まえ、プラント全体を俯瞰した説明が容易となるシートへの見直しを検討する ・「発電所-本店即応センター-ERC間で、最新のプラント状況や対応状況に係る共有が行えていない場面があったこと」を踏まえ、優先すべき報告内容のポイントを検討するとともに、ERC対応ブースをサポートするための本店即応センター内体制について検討する | | | | |

○川内原子力発電所における要素訓練（作業手順の習熟を図る個々の訓練）

・対象期間：平成29年12月1日～平成30年11月30日

| 項目 | 実施日 | 参加人数 | 訓練の概要 | 今後に向けた改善点 |
|-----------|--------------------|------|---|--------------------------------|
| 通報訓練 | 平成29年12月26日 | 27名 | ○通報連絡要否判断、通報連絡文の確実な作成及び社内外関係箇所へ迅速かつ確実な通報連絡ができることを確認する | ・今後も、訓練において状況を確認し、更なる改善を検討していく |
| 原子力災害医療訓練 | 平成30年9月14日 | 16名 | ○管理区域内で負傷者が発生したことを想定し、負傷者の搬出、汚染の除去、応急処置等の訓練を行う | 同上 |
| モニタリング訓練 | 平成30年9月26日 | 14名 | ○緊急時モニタリング（放射性物質濃度、放射線量の測定等）に係る対応能力の向上を図る | 同上 |
| 緊急時対応訓練 | 平成30年10月29日～11月1日※ | 90名 | ○発電所にて全交流動力電源が喪失したことを想定し、重大事故時における緊急時対応訓練を実施する | 同上 |

※：平成30年10月29日、30日、31日、11月1日実施

以上